

2023年度（令和5年度）

入学試験要項

◎試験当日は、この「入学試験要項」を必ず持参してください。

神道学専攻科 別科神道専修（Ⅰ類・Ⅱ類）

もっと日本を。もっと世界へ。



〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

総合企画部入学課

☎ 03-5466-0141

www.kokugakuin.ac.jp

新型コロナウイルスの影響によって、やむを得ず、入学試験実施（出願要件・試験日程・試験内容等）について変更する可能性があります。変更が生じた場合は、本学 Web サイトにて随時公表いたしますので、出願にあたっては、必ず本学 Web サイトにて最新情報をご確認ください。また、出願開始後に変更が生じた場合は、当該出願者に対し E メールまたは郵送にて通知いたします。

入試情報に関する変更は、こちら（本学 Web サイト）からご確認ください。



目 次

1. 募集人員・入学検定料等	1
2. 通学キャンパス・授業時間帯（令和4年度参考）	1
3. 実施スケジュール	2
4. 受験から入学手続まで	3
5. 入学試験要項	5
【1】神道学専攻科 【2】別科神道専修（Ⅰ類・Ⅱ類）	
6. 出願書類	7
7. 入学志願票記入例	8
8. 入学検定料	10
9. 学費等納付金	11
10. 過去問題	12

【出願にあたっての注意事項】

1. 出願資格・受付期間・試験科目等について、事前に熟読してください。
2. 身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願する30日前までに必ず入学課にご相談ください。
申請方法は大学のホームページをご参照ください(<https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/admissions/p2/p6>)。

【提出書類の確認について】

調査書・推薦書・証明書等については、記載内容の確認のため、大学から発行元の団体・機関等へ連絡をさせていただく場合があります。

【個人情報の取り扱いについて】

國學院大學では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じています。出願書類等に記載された個人情報は、下記の利用目的の範囲内において利用し、本人の同意の無い第三者への提供はいたしません。

なお、取得した個人情報に係る業務を外委託する場合は、学校法人國學院大學個人情報の保護に関する規程、ならびに國學院大學個人情報の保護に関する規程(<https://www.kokugakuin.ac.jp/about/efforts/p17>)に従い、適切に管理します。

利用目的	入学試験の実施および実施に伴う各種通知、入学手続に関する諸連絡、入学予定者への各種案内の送付、本学学校法人の國學院大學北海道短期大学の案内書類送付 ※上記のほか、出願時に取得した情報（氏名、受験番号、生年月日、高等学校等コード、高等学校名、志願する入試制度、志望学部学科、調査書記載の学習成績の状況、検定・試験の成績）および入試成績情報を用いて、以下の分析等を行う場合があります。 (1)高等学校・志望学部学科等、出願者の属性による入試成績状況の把握 (2)入学後の成績や履修状況と照合・分析し、入試時の状況と入学後の学修状況との関連性を把握 (3)卒業後の進路情報と照合・分析し、入試時の状況と進路状況の関連性を把握 (4)入学手続時に取得する情報（入学手続の有無、入学辞退時の進学先）と照合・分析し、本学出願者の進学動向を把握
データ項目	(1) 入学志願票に記入もしくは添付された項目 氏名、住所、電話番号、メールアドレス、性別、生年月日、国籍、出身学校(高等学校等・大学・短期大学(学士入学・編入学のみ))および卒業(見込)年月、志願する入試制度・学科(専攻)、大学入学共通テスト試験成績請求No、日本留学試験受験番号、写真 (2) 調査書、高等学校卒業程度認定試験合格証明書、各種検定・試験の合格証明書・成績(スコア)証明書等に記載されている項目 住所、氏名、生年月日、性別、学習成績の状況、担任による評価、検定・試験の成績および受検年月日
保管期間	10年間

國學院大學における個人情報の利用目的については下記の URL を参照してください。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/privacy/p2>

1. 募集人員・入学検定料等

(1) 募集人員

【神道学専攻科】

学 科	募集人員	修業年限
神道学専攻科	20名	1年

【別科神道専修】

学 科	募集人員	修業年限
別科神道専修Ⅰ類	40名	1年
別科神道専修Ⅱ類	40名	2年

(2) 転科について

別科神道専修のⅠ類からⅡ類への転科は可能ですが、Ⅱ類からⅠ類への転科はできません。また、別科神道専修Ⅱ類の2年次で退学した場合、「正階」、「権正階」の取得はできません。

(3) 取得可能な資格

学科	資格（検定合格）
神道学専攻科	神社本庁神職資格「正階」（明階検定合格）
別科神道専修Ⅰ類	神社本庁神職資格「権正階」（権正階検定合格）
別科神道専修Ⅱ類	神社本庁神職資格「正階」（正階検定合格）

(4) 入学検定料

35,000円

※一度納入された入学検定料については、いかなる理由があっても返還しませんので、ご注意ください。

2. 通学キャンパス・授業時間帯（令和4年度参考）

通学キャンパスは「渋谷キャンパス」です。開講時間帯は、神道学専攻科は第1時限～第5時限、別科神道専修は第6時限～第7時限です。

【神道学専攻科】

時限	時間帯
1	8:50～10:20
2	10:30～12:00
3	12:50～14:20
4	14:30～16:00
5	16:10～17:40

【別科神道専修】

時限	時間帯
6	17:50～19:20
7	19:30～21:00

3. 実施スケジュール

神道学専攻科……P. 5 参照

出願期間 (消印有効)	合格発表日	入学手続期間 (消印有効)
令和4年11月1日(火)～ 11月4日(金)	12月7日(水)	12月7日(水)～12月14日(水)

試験日	集合時刻	1時限 (10:00～11:00)	2時限目 (13:00～)
11月27日(日)	9:30 (渋谷キャンパス)	国語総合 ※現代文の基礎的な能力(読解力 など)について、記述式で解答 する問題です。	面接試験 (1人約20分)

別科神道専修 (I・II類)……P. 6 参照

出願期間 (消印有効)	合格発表日	入学手続期間 (消印有効)
令和5年2月6日(月)～2月9日(木)	3月11日(土)	3月11日(土)～3月17日(金)

試験日	集合時刻	1時限目 (10:00～11:00)	2時限目 (13:00～)
3月2日(木)	9:30 (渋谷キャンパス)	一般常識 小論文試験 (小論文は800字以内)	面接試験 (1人約20分)

※面接試験は午後からとなりますので、昼食を持参してください。

4. 受験から入学手続まで

(1) 受験に関する諸注意

①開門時刻	<p>午前9時</p> <p>※ <u>試験教室には集合時刻（試験開始30分前）までに入室</u>してください。入場後は、試験が終了するまで試験場の外に出ることはできません。</p>
②受験番号 通知書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出願された方全員に受験番号通知書を発送します。試験3日前になっても受験番号通知書が届かない場合や、記載内容に誤りのある場合、また紛失や破損をしてしまった場合には、入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。 ・ 電算処理の関係上、受験番号通知書・合格通知等に表記できるのは、JIS第1水準及びJIS第2水準までの漢字です。表記できない漢字については、字体の異なる同字で置き換えられるか、カタカナで表記されますのでご了承ください。 ・ 試験当日は必ず<u>受験番号通知書を持参</u>し、案内掲示板にて自分の受験番号を確認のうえ、該当の試験教室に入室してください。 ・ 受験番号はUCAROによる合否通知に必要となりますので大切に保管してください。
③遅刻	<p><u>遅刻は一切認めません</u>。指定された集合時刻に間に合わなかった場合、試験を受けることはできません。なお、事故等により交通機関に遅延が生じた場合でも、試験は原則として定刻通り実施します。</p>
④試験時間 中の注意 事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>時計は必ず持参してください</u>。ただし、辞書・電卓・計算・通信端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは使用できません。また、試験時間中は携帯電話など電子機器類の電源を必ず切ってください。 ・ 筆記具はHBのもの、消しゴムはプラスチック製を使用してください。下敷き・定規・コンパスなどは使用できません。 ・ 受験者は試験時間中に以下の物を使用することができます。（ただし、不正行為防止のため、必要に応じて試験監督者が確認する、または使用を認めないことがあります） 「座布団」・「ひざ掛け」・「コート」・「マスク」・「ティッシュペーパー」・「ハンカチ」・「ハンドタオル」・「目薬・点鼻薬」 ・ 英語や地図、和歌や格言等が印字されている服の着用や所持品の使用はできません。 ・ 試験教室からの入退室は、試験監督の指示に従ってください。不正行為をした者・試験監督の注意や指示に従わない者には退室を命じ、以降の受験は一切認めません。
⑤感染症に 関する 注意事項	<p>試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ・麻疹・風疹等）に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、受験をご遠慮願います。</p> <p>また、試験当日に発症の疑いがあると大学が判断した場合には、受験をご遠慮願いますので、体調管理については十分注意してください。</p> <p>ただし、症状により学校医その他の医師において伝染の恐れがないと認めた際には、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として再試験などの措置や入学検定料の返還は行いません。</p>

⑥その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 面接試験は午後からとなりますので、昼食を持参してください。 ・ 上履きを持参する必要はありません。 ・ 試験教室の下見はできません。 ・ 試験会場へは公共の交通機関をご利用ください。自動車や自転車、バイク等での試験会場内への乗り入れはできません。 ・ 大規模災害等、不測の事態により、所定の日程通りに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、延期・再試験等の対応措置を取らざるを得ないことがあります。これらの対応措置を講ずる場合は、本学ホームページ（www.kokugakuin.ac.jp/admission）に掲載しますので、確認してください。
------	--

(2) 評価方法について

出願書類ならびに各学科が指定する選考方法を用いて、アドミッション・ポリシーに基づき、学力を構成する特に重要な以下の三つの要素を多面的・総合的に評価する。

- ① 基礎的・基本的な知識・技能
- ② 知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力
- ③ 主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度

(3) 合格発表について

受験ポータルサイト「UCARO」にて合否通知を行います。確認する際に、**受験番号と生年月日**が必要となります。発表日の12:00以降に下記のアドレスにアクセスしてください。

電話による合否の問い合わせには一切応じません。

合格発表専用 UCARO ホームページアドレス

<https://www.ucaro.net/gouhi/304012A>



合格者に対しては、UCARO上の合格発表画面にて、入学手続に関する案内を行います。入学手続は、Web入学手続システムを通して行うものとし、大学から入学手続書類・合格通知書等の送付はいたしません。UCARO上の画面の指示に従って手続を行ってください。

なお、「誤操作」「見間違い」等を理由とした入学手続締め切り日を過ぎての入学手続は一切認めません。

5. 入学試験要項

【1】神道学専攻科

(1) 募集人員

20名 (修業年限1年)

(2) 出願資格

- ①および②を満たしていること。
- ①大学卒業者もしくは令和5年3月卒業見込みの者、学士の称号を有する者 (令和5年3月取得見込の者を含む)。
- ②令和5年4月1日現在で、満64歳以下の者。
- ※ 祭式の授業・神社実習は主として正座の姿勢で行うため、正座および起居のできることを要します。
- ※ 出願要件等で不明な点がある場合は入学課 (03-5466-0141) までお問合せください。

(3) 選考方法

- ①国語総合 (60分)
- ※ 現代文の基礎的な能力 (読解力など) について、記述式で解答する問題。
- ②面接試験 (約20分)

(4) 出願書類

詳細については、**P. 7**をご参照ください。

- | | |
|-----------------------------------|----------|
| ①入学志願票 (入学検定料: 35,000円) | 【本学所定用紙】 |
| ②各種証明書 (出身大学の卒業 (見込) 証明書・単位成績証明書) | |
| ③神社庁長の推薦書 (出身都道府県等の神社庁) | 【様式1】 |
| ④志願者調査票 | 【様式2】 |

- ※ 出願に際しては、出身都道府県等の神社庁長からの推薦書【様式1】が必要です。都道府県神社庁長からの推薦書がない場合は出願を認めません。
- ※ 健康診断書を提出する必要はありません。
- ※ 提出書類 (本学所定用紙) の必要事項は全て記入すること。出願書類に不備があった場合には、書類を受理できないことがありますのでご注意ください。
- ※ 一度提出された出願書類及び納入された入学検定料は、返還しません。

(5) 神社実習について

4月初旬に行われる神社実習をはじめとして、在学中に所定の神社実習が課されます。神社実習については、本学ホームページの「神職課程」ページに概要を掲載していますのでご覧ください。ご不明な点は神道研修事務課 (03-5466-0155)までお問い合わせください。

【2】別科神道専修

(1) 募集人員

学 科	募集人員	修業年限
別科神道専修Ⅰ類	40名	1年
別科神道専修Ⅱ類	40名	2年

※夜間（6・7時限）のみの募集となります。（P.1参照）

(2) 出願資格

高等学校卒業者もしくは令和5年3月卒業見込みの者。あるいは高等学校卒業者と同等以上の学力があると本学が認めた者。

- ※ 祭式の授業・神社実習は主として正座の姿勢で行うため、正座および起居のできることを要します。
- ※ 外国籍の方で、在留資格「留学」の在留資格認定証明書交付申請、現在所持している在留資格「留学」の期間更新、他の在留資格からの「留学」への資格変更はいずれも行うことができません。
- ※ 出願要件等で不明な点がある場合入学課（03-5446-0141）までお問い合わせください。

(3) 選考方法

- ①一般常識・小論文試験（小論文は800字以内、60分）
- ②面接試験（約20分）

(4) 出願書類

詳細については、P.7をご参照ください。

- | | |
|--------------------------------|----------|
| ①入学志願票（入学検定料：35,000円） | 【本学所定用紙】 |
| ②各種証明書（調査書・高等学校卒業程度認定試験合格証明書等） | |
| ③神社庁長の推薦書（出身都道府県等の神社庁） | 【様式1】 |
| ④志願者調査票 | 【様式2】 |

- ※ 出願に際しては、**出身都道府県等の神社庁長**からの推薦書【様式1】が必要です。都道府県神社庁長からの推薦書がない場合は出願を認めません。
- ※ 健康診断書を提出する必要はありません。
- ※ 提出書類（本学所定用紙）の必要事項は全て記入すること。出願書類に不備があった場合には、書類を受理できないことがありますのでご注意ください。
- ※ 一度提出された出願書類及び納入された入学検定料は、返還しません。

(5) 神社実習について

在学期間中、**神社実習（住み込み）**が課されます。詳細については、**神道研修事務課（03-5466-0155）**までお問い合わせください。

【神社実習（住み込み）における注意事項】

- ① 神社奉仕の熱意を有し、神職として必要な研修を受け、体力・意思ともに所定の神社実習に耐え得る者でなければなりません。
- ② 神社実習においては、一定のカリキュラムによる他、神社の実情に即した実習を行い、神職として必要な社務の全般（社殿・境内の清掃や雑務を含む）に従事しなければなりません。
- ③ 入学式前に実施される集合教育（3月下旬、3泊4日）への参加が義務付けられます。
- ④ 実習神社への配属は、集合教育期間中に面接を行ったうえで、本学と東京都神社庁との協議により決定します。

(6) 奨学金について

神社実習に際し、実習先の神社から奨学金が交付されます。詳細についてはP.11を参照してください。

6. 出願書類

出願に必要な書類を全てそろえ、入学検定料を振込んだ後、本学所定の出願用封筒ラベルを使用し、**速達・簡易書留**で入学課宛に送付してください。

★出願書類一覧（下表）で提出書類を確認のうえ、**出願書類は、順番に並べて提出してください。**

★【様式1】の発行については、都道府県神社庁へあらかじめご相談のうえ、ご準備ください。

出願書類一覧	
【本学所定用紙】入学志願票	※1
各種証明書	※2
【様式1】神社庁長の推薦書	
【様式2】志願者調査票	

※1	入学志願票 【本学所定用紙】	① 「入学志願票記入例」(P.8)を参考に記入してください。 ② 入学検定料(35,000円)を振込み、写真(縦4cm×横3cm)を必ず貼付してください。
----	-------------------	--

※2	各種証明書	出願前3ヶ月以内に発行されたものを提出してください。		
	神道学専攻科	出身(在籍)大学長が発行した「卒業(見込)証明書」と「単位成績証明書」(出身(在籍)大学所定用紙)		
	別科神道専修 (Ⅰ・Ⅱ類)	高等学校(特別支援学校の高等部を含む)又は中等教育学校を卒業した者、及び令和5年3月卒業見込みの者	出身(在籍)学校長が発行した「調査書」(学校所定用紙、開封無効)	既卒生の場合、卒業後に発行されたもので可(卒業見込で発行されたものは不可)
		高等学校卒業程度認定試験もしくは大学入学資格検定の合格者・合格見込みの者	「合格証明書」(合格見込者は「合格見込成績証明書」)	
		外国における12年の課程を修了した者又は修了見込みの者	「修了(見込)証明書」と成績証明書 ※日本と外国両方の高等学校に在籍した場合は、日本の高等学校在学中の「調査書」も合わせて提出してください。	
その他、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた場合		関係する証明書等を提出してください。なお、必要な証明書については本学入学課(03-5466-0141)にお問い合わせください。		

7. 入学志願票記入例 ※写真票もこれにならって記入してください。

記入例は、「神道学専攻科」を選択したのですが、「別科神道専修」を選択した場合もこれにならい、ボールペンを使用して各票の太枠内をもれなく記入してください（網かけされている欄は未記入のまま結構です）。

なお、提出後の変更は一切認められませんので、ご注意ください。

★入学志願票を全て記入のうえ、入学検定料（35,000 円）を振込み、出願してください。

★写真票には写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。

★記入を間違えた場合は修正液（ホワイト）を使用しても構いません。但し、入学検定料（振込）を訂正する場合は、二重線で消し、その上に銀行等の窓口で訂正印を押してもらい、欄外に正しい金額を記入してください。

國學院大學（総合型選抜・学校推薦型選抜）入学志願票

志願票

入試制度												
出願する試験制度の番号に○を付け、必要事項を記入してください。												
1 公募(AO) 経済学部以外	2 公募制(AO) 経済学部 K-ENT方式	3 スポーツ	4 指定校	5 全商協会	6 社会人	7 神道・宗教	8 神職養成	9 神道学 専攻科	10 学士	11 一般編入		
12 院友子弟		13 セカンド キャリア	14 別科I類	15 別科II類	出願方法 1: 神道 2: 宗教 (A)(B)		16 外国人 留学生	17 系列・指定校 (推薦)	18 系列校 (選抜推薦)	19 系列編入		
志望コード コード		活動コード イ ロ ハ		経済学部 志願タイプ		国籍コード		日本留学試験受験番号				
↓記入例に従って該当欄に記入してください(選択項目には該当する番号に○を付けてください)。												
志願データ												
受験番号 入試コード						※						
Z 1 8 A						系列三高校(選抜推薦)志願者のみの貼付 大学入学共通テスト成績請求票貼付欄 私・短 私立大学・ 公私立短期大学用 大学入学共通テスト受験票とともに交付された 成績請求票を貼付してください。						
学部		入試制度①・⑦(I期)・⑫の 神道文化学科志願者のみ 番号に○を付けてください。				【公募(AO)社会人出願者のみ】						
学科		コース 1 どちらも希望する 2 フレックスA(夜間主)のみ 3 フレックスB(昼間主)のみ				・第1次選考免除 (中国文学科・法律学科)		1 希望する				
専攻 (専攻科・別科)		神道学専攻科				・活動レポート免除 (史学科)		2 希望しない				
氏名	フリガナ	ワカキ ヨシヲ				性別	① 男	生年 年(西暦)	月	日	1999 10 4	
	漢字	若木 翔					2 女					
	【留学生用】 ローマ字					電話	自宅 04:5-XXXX-XXXX		携帯 08:0-XXXX-XXXX			
志願者住所	神奈川県	横浜市青葉区新石川3-22-1										
	〒	225-0003		メールアドレス		kokugakuin@xxx.xx						
履歴	出身高等学校等		高等学校等コード	課程	学科	卒業年(西暦)	月	入学検定料(振込金額)				
	國學院		13550A	1	1	2018	03	¥ 35000				
	出身大学(短大)・学部・学科		國學院大學文学部日本文学科		卒業年(西暦)	月						
				2023	03							

- ボールペンを使用して記入してください。間違えた場合は修正液を使用しても構いません。但し、入学検定料(振込金額)を訂正する場合は、二重線で消し、その上に銀行で訂正印を押してもらい、欄外に正しい金額を記入してください。
- 濁点なども1文字として楷書で記入してください。
- 振込金額は、入試制度によって異なりますので、必ず要項でご確認ください。
- ATMからの振り込みはできません。必ず銀行等金融機関の窓口で手続を行ってください。
- 取扱店の取納印が無いものは無効です。

個人情報取り扱い確認欄

個人情報の取り扱いに関する「振込金兼手数料受取書(本人保存)」の記載を読み、同意しない場合のみ、✓を記入してください。

同意 しない



2023

(1) 記入上の注意

- ① 出願する入試制度に○をつけてください。
- ② 各種コード一覧を参照し、入試コード・専攻（専攻科・別科）を記入してください。
学部・学科・コース欄は記入不要です（他の入試制度使用欄のため）。
- ③ 調査書（卒業証明書）、その他出願に必要な書類の氏名欄は、住民票に記載されている本名または通称名にて統一してください。氏名は電算処理の都合上、標準文字（JIS第1・2水準文字）を使用してください。
- ④ 濁点・半濁点も1文字として記入してください。
- ⑤ 生年月日・卒業年月は必ず西暦で記入し、月日が1桁の場合は、その数字の前に「0」を入れ、2桁で記入してください。
- ⑥ 神道学専攻科志願者は、出身学校名・高等学校等コードと併せて、「出身大学」欄に出身（在籍）大学・学部・学科の名称及び卒業（見込）年月を必ず記入してください。
- ⑦ 住所は受験番号通知書等の送付先となるので、アパート・マンション名まで正確に記入してください（丁目・番地・号は「-」で記入してください）。
- ⑧ 電話番号（日中連絡のとれるもの）は、市外局番・局番・加入番号それぞれの間を「-」で区切って記入してください。
- ⑨ メールアドレスは正確に記入してください。また、文字の判別がしやすいように、適宜フリガナ等で補足してください（例：アルファベットのO<オー>と数字の0<ゼロ>など）。

(2) 各種コード一覧

専攻科・別科		入試コード
神道学専攻科		Z 18 A
別科神道専修	I 類	Z 29 A
	II 類	Z 29 B

高等学校等コード
高等学校等の進路指導部へお問い合わせください。 ※大学入試センターのコードと同様です。

課程コード				
課 程	全日制	定時制	通信制	その他
コード	1	2	3	9

学科コード							
学科	普通	商業	工業	農業	英語	総合	その他
コード	1	2	3	4	5	6	9

8. 入学検定料

入学検定料の振込について

入学検定料

35,000円

※出願開始日よりお振り込みください。

- ① 入学志願票に必要事項を全て記入した後、出願期限に間に合うように最寄りの銀行または信用金庫等の窓口（銀行等のATM・ゆうちょ銀行は利用できません）から本学が指定する銀行口座へ振込んでください。
 - 振込依頼書は入学志願票と一連になっていますので、必要事項を記入のうえ、切り離さずに銀行等取扱店へお持ちください。
 - 本学が指定する銀行（下記⑥参照）の各本支店から振込む際の手数料は不要ですが、その他の金融機関から振込む場合には本人負担となります。
- ② 振込終了後、「振込依頼書」は取扱店によって切り取られます。それ以外の収納印欄全てに取扱店の収納印が押されていることを必ず確認してください。
- ③ 「本人保存」は領収書となりますので、各自切り取って保管してください。
- ④ 出願の際には「入学志願票・写真票」を切り離さず、その他の出願書類とともに入学課宛に送付してください（詳細はP.7～9を参照してください）。
- ⑤ 一度提出した書類及び入学検定料は、返還しませんのでご注意ください。
- ⑥ 本学が指定する銀行口座は下記のとおりです。

みずほ銀行	渋谷中央支店	普通	No.1391131	三菱UFJ銀行	渋谷中央支店	普通	No.0128169
三井住友銀行	渋谷支店	普通	No.8195674	りそな銀行	渋谷支店	普通	No.0093868

※ ご不明な点は、入学検定料をお振込みの前に、入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。

9. 学費等納付金

(1) 学費等納付金について

令和4年度参考。なお金額については変更となる場合があります。

神道学専攻科

(単位：円)

費目	納期	年額	分納	
			入学時	入学後(後期分)
学費	入学金	240,000	240,000	
	授業料	760,000	380,000	380,000
	施設設備費	210,000	105,000	105,000
	維持運営費	10,000	10,000	
	小計	1,220,000	735,000	485,000
諸費	若木育成会費	29,000	29,000	
	國學院雑誌代	2,000	2,000	
	院友会(同窓会)入会金	10,000	10,000	
	小計	41,000	41,000	
合計		1,261,000	776,000	485,000

別科神道専修 (I・II類)

(単位：円)

費目	納期	年額	分納	
			入学時	入学後(後期分)
学費	入学金	145,000	145,000	
	授業料	420,000	210,000	210,000
	施設設備費	81,000	81,000	
	維持運営費	10,000	10,000	
	実習費	6,000	6,000	
	小計	662,000	452,000	210,000
諸費	若木育成会費	29,000	29,000	
	國學院雑誌代	2,000	2,000	
	院友会(同窓会)入会金	10,000	10,000	
	小計	41,000	41,000	
合計		703,000	493,000	210,000

- 備考 1. 上記の学費以外に、指定実習 I (神道学専攻科)・集合教育(別科神道専修 (I・II類))の費用を徴収します。
 2. 神道学専攻科は、本学出身者については入学金・施設設備費を半額免除し、院友会(同窓会)入会金は全額免除します。
 3. 上表のうち、國學院雑誌代については消費税分を含んだ金額となっております。
 4. 後期分以降の学費の納付については、口座振替となります。詳細は入学後にご案内します。

(2) 別科神道専修の奨学金交付等について(令和4年度参考)

神社実習の受け入れ神社から、奨学金として420,000円(授業料相当額)が交付されます。併せて実習神社からは1年次20,000円(月額)、2年次30,000円(月額)の奨学金も交付されます。

また、住み込みによる神社実習のため、住居費および食費は不要です。また、通学のための交通費も支給されます。但し、それ以外の教科書代や生活費などは自己負担となりますので、月々の仕送りが必要です。

【國學院大學教育充実資金(維持費)のお願い】

本学教学内容の維持・充実をはかるため、新入生の保証人各位に、國學院大學教育充実資金(1口20万円)のご寄付をお願いしております。入学後の4月にご案内いたしますので、ぜひ1口以上のご協力をお願い申し上げます。

※本学では入学前(3月まで)の募金活動は行っていません。

10. 過去問題

令和4年度 神道学専攻科入学試験問題 国語総合

次の文章を読んで、後の問一～六に答えなさい。

『日本書紀』神代上第八段の一書に、五十猛命・大屋津姫命・杵津姫命の三神を「木種」の管理者と認定した記事が見える。木種・木常にかかわる民俗はきわめて重要なものではあるが、その調査は進んでいない。焼畑輪作を終え、山を休閑させるに際して榛の木南を植える習俗は、かつて各地に見られた。山梨県南巨摩郡早川町奈良田では、焼畑跡への移植を目的として、榛、フシの木、落葉樹の二年目の苗を取るために女たちがそろって谷へ入った。岩手県稗貫郡大迫町内川目（現花巻市）でも焼畑の跡へ榛を植えたが、ここでは「種榛の木」として榛の巨木を守り育て、毎年、その木の下から苗を採って移植したものだという。このような「種木」に対する尊崇も樹木信仰発生の一つの要素になつていたはずである。

焼畑輪作の二年目ないし三年目の畑を「クナ」と称する地が神奈川・長野・山梨・静岡・宮崎県などにある。原初、焼畑地を一年ないし二年で放棄休閑させていたころ、その休閑地の木が順調に再生することを祈ってその地を禁足地とし、「来勿」と称していたことが推察される。^①これも、自然に対する人間の謹しみを示すものであった。

静岡市口坂本では、毎月一日は木が生える日だから一日には木を伐ってはいけない、四日は竹を伐ってはいけないと言いつづけている。また、静岡県焼津市小川では一月四日を「木を植える日」と称して、この日は「於の木を逆さに植えても根づく」と語り伝えている。これと対応する形で、静岡県榛原郡書田町では、寒の明け一週間前ぐらいに屋敷の木を山本でも切らなければならないと言いつづけていたので、植木屋が民家をまわって庭木の小枝を一本だけ切ってまわり、祝儀をもらう風があったという。寒明けを期して樹木が再生することを願う呪術であったと思われる。静岡県磐田郡豊田町富里（現磐田市）では、木の三尺から下には金神様がいるから三尺から下の枝は伐るものではないと言いつづけている。植木職人の伝承のなかからもさまざまな木の民俗が読みとれる。

宮崎県西臼杵郡高千穂町には山月十四日を「松入れ」と称して、前年に結婚・誕生など吉事があった家に、根引きの松を包んだものを「ヨイヨイ・サッサ」の掛け声で夜中に投げこむ行事があったという。宮廷を中心に貴族の間で行なわれた「子の日の遊び」「姫小松引き」「子の日小松引き」は中国の影響によるもので、松の芽を食したと伝えられるが、これが民間の「春山入り」と習合したことも考えられ、その際、切り松ではなく「根引き松」であることの意味が大きくなる。高千穂の松入れは、言い換えれば、吉事に対して共同体から「松甫」を贈ることになる。松入れの松は、植えるために根引きにされていたのであった。こう見てくると、子の日の小松引きについても、単に芽を食したのみならず、植える習俗があった可能性もさぐつてみなければならない。藤枝市滝沢八坂神社の田遊び「田植」の詞章の冒頭では、

^②「へ東山に 東山に 子の日の姫小松 リリウラ 子の日の姫小松 リリウラ この木引かむや この木引かむや」と歌われる。 椿はその花で人を楽しませ、実によって人に抽を恵み、材

は道具として役立ち、灰までも染色に際して力を発揮した。青森県の夏泊崎や秋田県の男鹿半島にはみごとな椿山がある。柳田国男は昭和三年一日三日のラジオ放送で、「椿は春の木」と遺して、天然記念物に指定された北の椿はいわゆる天然記念物ではなく、人の手によって伝えられ、守られたものであったことを語った。

伊東市の鹿島踊りの詞章に次の歌詞がある。

へ鎌倉の御所のお庭に椿を 様にする
日が照れば涼み所 雨が降れば雨やどり

また、駿河麦端唄では次のように歌われる。

へ麦を搗いて帰る道に椿を
日が照らば涼みどころ 雨が降らば雨宿

これを見ると、「椿を 」という常套句が広く行なわれていたことがわかる。

実生の椿を育てる方法もあるが、椿の苗を移植して育てる方法もあった。

^③海石櫛市の八十の衝に立ち平し結びし紐を解かまく惜しも
（『万葉集』 二九五―）
紫は灰さすものぞ海石櫛市の八十の衝に会へる子や誰
（『万葉集』 三一〇―）

海石櫛市は、奈良県桜井市金屋の椿市観音・椿市地藏がある地とされている。その命名由来につき、折口信夫は、山人が椿の枝の杖を持ってきて魂ふりをしたことによると説く。別に、市の場にその標のごとく椿の古木があったことなどが想定できるが、むしろ、山の入りが椿の苗を持ち来って町びとと里びとに売る、その椿が名物になっていた市と考えるべきではなからうか。祭日に神前に収穫物を奉納し、その一部によって「種替え」を行なうという形で作物の品種改良を行なう民俗は各地にあり、その伝統は長かった。椿も、祭日・縁日・市に登場し里に広まった植物である。同系のものに、魔除けとして用いられる椿があった。椿が山から里へ、里から町へと広がったと同様、椿も山から里、里から町へと広がり、現在も、京都や奈良の町中において、その一枝一枝が実に多くの家々で節分の門口を飾っている。

永遠の寿命を与えられた八百比丘尼は椿の枝を持って諸国をめぐつたと伝えられる。八百比丘尼は日本海側の若狭を起点とし、椿の自生しな雪国を中心に椿の力を宣布し、椿の実種を頒布してまわった「椿の配達人」であった。その実のもたらす袖による黒髪くろかみの喧伝こそ、^④「八百比丘尼」伝承のポイントであった。

縁日と祭礼の日、苗木市の出る地は多い。この習俗は、けっして新しいものではなく、それは大和の海石櫛市以来の伝統であったと考えられる。『豊後国風土記』のなかにも同名の海石櫛市が見えることは、古代にも商売りの習俗がかなり広い範囲で行なわれていたことを語っている。

「」といういとなみは、わが国の民俗的伝統だったと言えよう。

（野本寛一『神と自然の景観論』。一部人物の氏名・職業・生年は略した）

問一 傍線部(1)の「これ」以外の、文中にあげられた「自然に対する人間の謙しみを示すもの」の具体例二例を、合わせて五〇字程度で解答欄に記入しなさい。

問二 傍線部(2)に著者が注目した理由の推察を、五〇字程度で解答欄に記入しなさい。

問三 空欄Bにあてはまる適切なふりがなを、解答欄に記入しなさい。

問四 傍線部(4)の説明を、同じ段落の語句を用いて解答欄に記入しなさい。

問五 空欄「X」にあてはまる語句として適切なものを、次のア～エから一つ選び、目頭の記号を解答欄に記入しなさい。そのうえで文章全体の要約を、三〇〇字程度で解答欄に記入しなさい。

- ア 謹みて楽しみて イ 売りに配りて
ウ 伝えて守りて エ 構えて育てて

問六 文章の内容を踏まえて、日本のまつり・儀礼と自然環境との関係についての自らの考えを、六〇〇字程度で解答欄に記入しなさい。

令和3年度 神道学専攻科入学試験問題 国語総合

次の文章は、近世の国学者本居宣長が古道論について述べた『直隰霊』の一節である。文章を読み、後の問いに答えなさい。

人はみな、産巢日の神の御霊によりて、生まれつるまにまに、身にあるべき限りの行は、おのづから知りてよく為る物にしあれば、世の中に生きとし生ける物、鳥蟲に至るまでも、己が身のほどほどに、必ずあるべき限りのわざは、産巢日の神の御霊に頼りて、おのづからよく知りてなすものなる中にも、人は殊に優れたる物と生まれれば、また、しか優れたるほどに叶ひて、知るべき限りは知り、すべき限りはする物なるに、いかでか其の上をなほ強ふることのあらむ。教へによらずては、え知らずえせぬものといはば、人は鳥蟲に劣れりとやせむ。いはゆる仁義・礼讓・孝悌・忠信のたぐひ、皆人の必ずあるべきわざなれば、あるべき限りは、教へを借らざれども、おのづからよく知りてなすことなるに、かの聖人の道は、もと治まりがたき国を、強ひて治めむとして作れる物にて、人の必ず有るべき限りを過ぎて、なほ厳しく教へたてむとせる強事なれば、まことの道に叶はず。故れ、口には人みなことごとしく言ひながら、まことに、しか行ふ人は、世々のいとありがたきを、天理のままなる道と思ふは、いたく違へり。

問 本居宣長の神観念や「教へ」に対する考え方について三〇〇字程度でまとめた上で、「神道と教義」についてのあなたの考えを、解答欄に六〇〇字程度で記入しなさい。

令和2年度 神道学専攻科入学試験問題

著作権の関係で問題の掲載を差し控えます。

令和4年度 別科神道専修I類・II類 入学試験問題

一般常識・小論文

■ 次の空欄「1」～「20」にあてはまる適切な語句を、別紙解答用紙に記入しなさい。(四〇点)

- ① 国づくり神話にも登場し、大国主大神を祭神とする出雲大社は「1」県に鎮座する。
- ② 日本で標高が最も高く、その山頂が神社の境内地である山は「2」である。
- ③ 『伊豆の踊子』『雪国』といった代表作で知られる「3」は、日本人の心の精髓をすぐれた感受性をもって表現した作家であり、昭和四十三年にはノーベル文学賞を受賞した。
- ④ 「昔の物事を研究し吟味して、そこから新しい知識や見解を得ること」を意味する四字熟語は「4」である。
- ⑤ 「生涯にただ一度まみえること、一生に一度限りであること」を意味する四字熟語は「5」である。
- ⑥ 日本国憲法の理念は平和主義、国民主権、「6」の尊重である。
- ⑦ 1年間に国内で新たに生産された財・サービスの価値の合計を「7」いい、アルファベットでGDPと表記される。
- ⑧ 明治十五年に創立された「8」は、日本の中央銀行として国庫金の取り扱い、銀行券の発行などを行うのみならず、経済・金融の中核機関として種々の活動を営んでいる。
- ⑨ 平治の乱により伊豆に流された「9」は、日は、以仁王の令旨を奉じて坂東武士らと平氏追討の兵を挙げ、鎌倉を本拠として東国を固めた。そして、平氏を滅亡させ、弟の義経を追放し、奥州藤原氏を滅し、建久三年には征夷大将軍に任じられた。
- ⑩ 江戸時代の大名の分類には、関ヶ原の戦い以前より徳川氏に臣従して取り立てられた譜代大名と、関ヶ原の戦い前後に臣従した「10」大名がある。
- ⑪ 明治十年の西南戦争は、明治政府に対する不平士族の最大かつ最後の反乱で「11」で挙兵し、熊本県、宮崎県、鹿児島県を転戦したが、政府軍の反撃により敗退した。日本国内で最後の内戦である。
- ⑫ 「12」は、昭和二十六年九月に調印された、第二次世界大戦の終結と国交回復について連合国諸国と日本との間に締結された平和条約である。
- ⑬ 平安時代初期の僧で、真言宗の開祖である「13」は、延暦二十三年に入唐して密教を学び、帰朝後は京都の東寺、高野山金剛峯寺の経営に努めた。

- ⑭ アメリカ合衆国第十六代大統領の [14] は、南北戦争下の
一八六三年に奴隷解放を宣言し、「人民の人民による人民のため
の政治」という民主主義の理念を説いた。
- ⑮ モンゴル帝国第五代皇帝のフビライが建てた国である [15]
は、南宋を滅し、周辺の国々を服属させ、東アジアに大帝国を建設
した。しかし、日本には二度にわたる遠征を行なったが失敗に終わ
った。
- ⑯ 全国を平定した豊臣秀吉は、文禄元年、加藤清正・小西行長を先
鋒として [16] に出兵した。初めは連戦連勝したが明の援軍
が到着し、こう着状態となり撤退した。慶長元年には再び出兵する
も、秀吉が死去したため撤退した。
- ⑰ 近松門左衛門作の人形浄瑠璃「国姓爺合戦」の主人公の和藤内
(鄭成功)は、長崎県の平戸にて中国人の父、日本人の母との間に
生まれ、清朝への抵抗運動を続けて [17] に渡った実在の
人物である。
- ⑱ [18] とは、侵食された山地が地殻運動または海水面の変
化のために海水の侵入を受け、複雑な海岸線をなしているもので
ある。日本では三陸海岸、若狭湾、志摩半島から紀伊半島、日豊海
岸などが有名である。
- ㉑ 明治時代の実業家である [19] は、第一国立銀行を経営し
たほか、製紙、紡績、保険、運輸、鉄道など多くの企業設立に関与
し、引退後は社会事業や教育に尽力した。
- ㉒ もともとオリンピックは古代 [20] で4年に一度開催されていた
競技大会であった。19世紀末にクーベルタンンの提唱によって近代オ
リンピックが開催されるようになり、現在では世界的なスポーツ大会と
なっている。
- 2** 次の質問二題について答えなさい。(六〇点) ※なお、回
答は回答欄に記入すること。

- ① 別科を受験した動機と、入学後にどのようなことを学び、
実践してみたいかについて二〇〇字程度で述べなさい。
- ② 将来、神職資格を取得して神社に奉職した際に、あなた自
身が取り組んでみたい活動を三〇〇字程度で詳しく述べな
さい。
- ④ 戦国時代の幕開けとなった戦乱は [4] の乱で、主戦場と
なった京都は戦火に焼かれ荒廃した。
- ⑤ 天文十八年(一五四九)、イエズス会の宣教師 [5] が
日本にキリスト教を伝えた。
- ⑥ 江戸幕府は、禁教と貿易統制を目的に日本人の海外渡航禁止
と外国船来航規制を断行する政策として [6] をとった。
- ⑦ 慶応三年(一八六七)、江戸幕府十五代将軍徳川慶喜は
[7] を行い、政権を朝廷に返上した。
- ⑧ 日本の領土である北方領土は国後島、色丹島、[8] 島、
歯舞群島の四島からなる。
- ⑨ 日本列島の太平洋側を北上する暖流は [9] 潮、千島列
島に沿って南下する寒流は親潮である。
- ⑩ 関東地方の高台を覆っている赤褐色の火山灰層を [10]
層という。
- ⑪ 都市の中心地の人口が減少し、郊外の人口が増加する人口移
動現象を [11] 化現象という。
- ⑫ 地表上において北極点と南極点からともに等しい距離にある
点を結んだ線を地球の [12] 道という。
- ⑬ 日本の河川で、最大の流域面積を持つのは利根川、最長は
[13] 川である。
- ⑭ ムハンマド(マホメット)は、アラビア半島のメッカに生まれ、
七世紀初め頃に [14] 教を創始した。
- ⑮ 一九八九年(平成元年)、[15] の壁が開放され、翌年、
東西ドイツの統一が実現した。
- ⑯ 日本国憲法第一条にて、日本国の象徴であり、日本国民統合
の象徴とされているのは [16] である。
- ⑰ 平成二十一年(二〇〇九)、一般の国民が刑事裁判に参加
する [17] 制度が始まった。

令和3年度 別科神道専修Ⅰ類・Ⅱ類入 学試験問題一般常識・小論文

1 次の空欄 [1] ~ [20] にあてはまる適切な語
句を、別紙解答用紙に記入しなさい。(四〇点)

- ① 皇祖とされる天照大神を祀る伊勢神宮は、[1] 県に
鎮座する。
- ② 令和元年(二〇一九)五月一日に即位した天皇陛下は、初
代 [2] 天皇から数えて百二十六代目である。
- ③ 元明天皇は、和銅三年(七一〇)に藤原京から [3]
京へと遷都した。
- ④ 現在の日本の元号「令和」は、日本に現存する最古の和歌集
[18] から採用された。
- ⑤ 近代オリンピック第一回大会が開催された都市はギリシャの
[19] である。
- ⑥ 新型コロナウイルスへの対応を続ける医療従事者に敬意と感
謝の意を示すため、令和二年(二〇二〇)五月二十九日に首
都圏の空を飛行したのは、航空自衛隊宮城県松島基地の第四
航空団に所属する「第十一飛行隊」である通称 [20] で
ある。

2 次の問いに答えなさい。(六〇点)

※解答欄が足りない場合は、解答用紙の裏面を使ってもよい。

- ① 別科を受験した動機と、入学した後にどんなことを学び、実践してみたいかについて、二〇〇字以上で解答欄に記入しなさい。
- ② 将来、神職資格を取得して神社に奉仕した際に、あなた自身が行ってみたい活動を、三〇〇字以上で解答欄に記入しなさい。

令和2年度 別科神道専修Ⅰ類・Ⅱ類入学試験問題一般常識・小論文

■ 次のカッコ内に適切な漢字もしくは、カタカナを記入しなさい。(四〇点)

- ① 元正天皇の御代の養老四(七二〇)年に完成し、天孫降臨や国生み、神武天皇や日本武尊の活躍をはじめとして、神代から持統天皇に至るまでの国の歴史が書かれた全三〇巻からなる書物は()である。
- ② 延暦一三(七九四)年に桓武天皇によって、現在の京都府にあたる長岡京から()京へと遷都した。
- ③ 建久三(一一九二)年に征夷大將軍に任命された源頼朝が開いた武家政権は、()幕府である。
- ④ 大村純忠や有馬晴信、高山右近、小西行長などキリスト教に入信した大名のことを()と呼ぶ。
- ⑤ 江戸期に俳諧の作風を確立し、奥羽地方から北陸地方をめぐり紀行文『奥の細道』を書いた人物は、()芭蕉である。
- ⑥ 化石燃料の大量消費によって大気中の二酸化炭素など、温室効果ガスが増加して、地表の温度が上昇し、海面などが上昇したり気候変動が起こることを地球()と呼ぶ。
- ⑦ 太陽高度が北半球で最も高くなり、南半球では最も低くなって北半球では最も昼間が長くなる日を()と呼ぶ。
- ⑧ 地球の経度を測る基準となっている旧グリニッジ天文台のあるイギリス(英国)の首都は、()である。
- ⑨ 日本は()の都道府県にわかれており、その下に約一七〇〇の市町村がある。
- ⑩ 本州の最東端にある県の名称は、()である。
- ⑪ 三種の神器の一つである草薙剣を祀る熱田神宮が鎮座する愛知県の県庁所在地は、()市である。
- ⑫ 昨年七月にユネスコの世界遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群のなかで最大の古墳は()天皇陵(大仙陵)である。
- ⑬ 皇祖とされる天照大神を祀り、三重県伊勢市に鎮座する境内

面積が日本最大の神社は、()である。

- ⑭ プロ野球ヤクルト球団の本拠地、神宮球場は、今年創建一〇〇年を迎える神社、()の野球場である。
- ⑮ 七世紀の前半に預言者ムハンマドによって開かれ、アッラーへの信仰を説く宗教は()である。
- ⑯ 明治時代以降の日本の元号を並べて書くと、明治、()、昭和、平成、令和となる。
- ⑰ 日本国憲法の第一条にて、日本国および日本国民統合の象徴とされているのは()である。
- ⑱ 日本国憲法で唯一の立法機関として定められている国会は、衆議院と()という二つの議院からなる。
- ⑲ 昨年秋、天皇が即位したあとに皇居内で最初に行われた大規模な新嘗祭のことを()祭と呼ぶ。
- ⑳ 農山村地域から人口が流失し、町の活力が乏しくなって社会生活が困難となった状態を()と呼ぶ。

2 次の質問二題について答えなさい。(六〇点) ※なお、解答欄が足りない場合は、裏面を使ってもよい。

- ① 別科を受験した動機と、入学した後にどんなことを学び、実践してみたいかについて二〇〇字以上で述べなさい。
- ② 将来、神職資格を取得して神社に奉職した際に、あなた自身が行ってみたい活動を三〇〇字以上で詳しく述べなさい。

神社庁長の推薦書
【様式1】

フリガナ
志願者氏名

(推薦事由)

令和 年 月 日

神社庁
庁長

國學院大學学長 殿

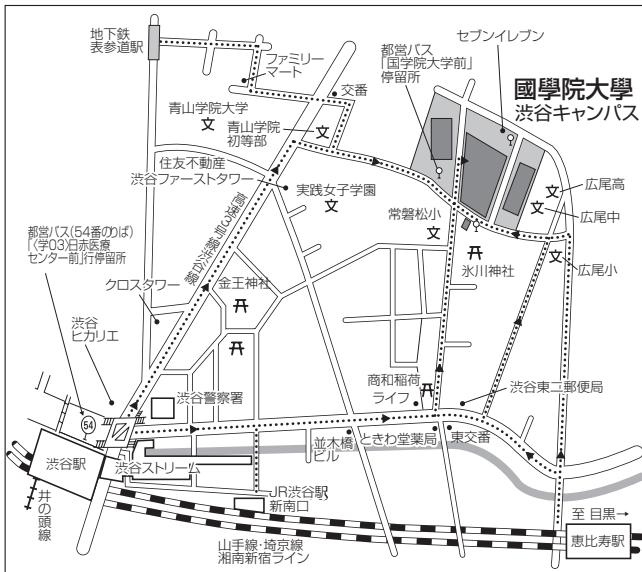
印

志願者調査票【様式2】

志願者本人が必要事項を記入し、該当のものを○で囲んでください（鉛筆書き不可）。

志願先		フリガナ	生年月日	性別
神道学専攻科 別科神道専修 I類 別科神道専修 II類		氏名	平成 昭和 年 月 日生	男・女
最終 学歴	令和 平成 年 月 昭和	国立 公立 私立	大学	学部 (専攻) 卒業 卒業見込
		都道府 県市私 立	高等学校 全日制 中等教育学校 定時制	科 卒業 卒業見込
現住所	(〒 -)			
	電話番号			
志願理由記入欄				
希望する実習神社について（別科神道専修志願者のみ記入してください）				
① _____ 神社で実習したい。その理由 _____				
②大学と東京都神社庁で決定した神社が良い。 (その他の希望)				
③奉仕神職が多く規模の大きい神社が良い。				
④宮司と実習生だけの小規模な神社が良い。				
⑤自分以外に実習生がいる神社が良い。				

渋谷キャンパス 〈文学部・神道文化学部・法学部・経済学部・専攻科・別科のメインキャンパス〉



＜所在地＞〒150-8440

東京都渋谷区東四丁目10-28

＜交通機関＞渋谷駅東口方面出口より徒歩約13分、

または、

渋谷駅東口バスターミナル(54番のりば)より

都営バス〈学03系統〉「日赤医療センター前」行き(運賃 現金180円・IC175円)「国学院大学前」下車

横浜たまプラーザキャンパス 〈人間開発・観光まちづくり学部のメインキャンパス〉



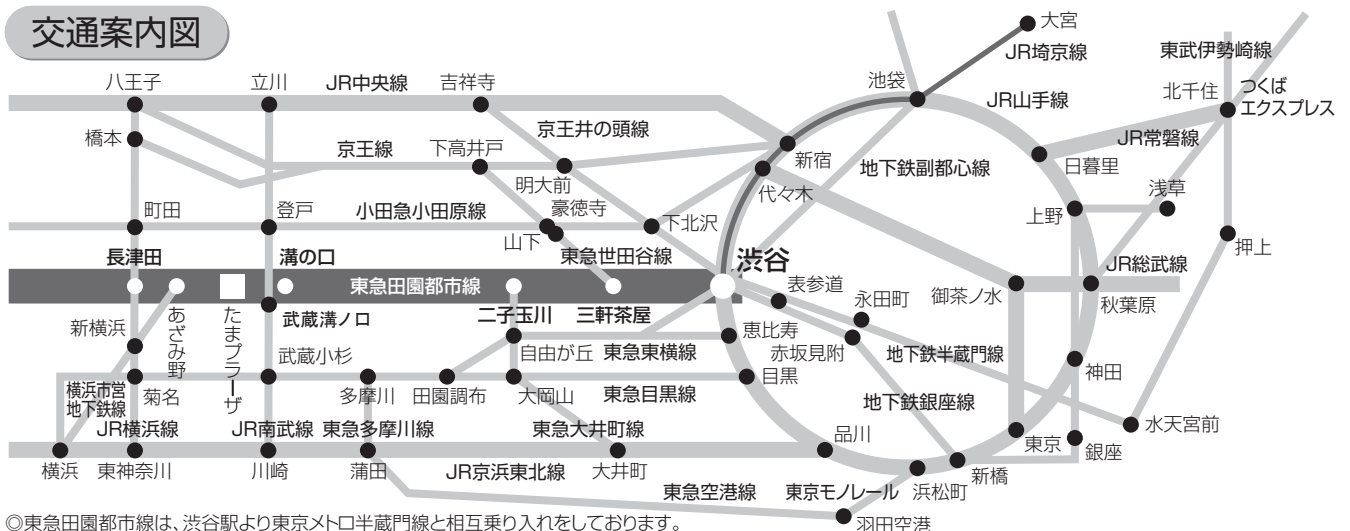
＜所在地＞〒225-0003

神奈川県横浜市青葉区新石川三丁目22-1

＜交通機関＞渋谷駅より東急田園都市線(長津田・中央林間方面行き)にて約25分(東京メトロ半蔵門線相互乗り入れ)

たまプラーザ駅下車南口より徒歩約5分

交通案内図



◎東急田園都市線は、渋谷駅より東京メトロ半蔵門線と相互乗り入れをしております。

※本ページに記載されている情報は発行時のものです。変更される場合がありますので、ご自身で必ずご確認ください。

